

ワークショップ通信 VOL5

第5回会議 2024.1.26 @寄居町役場 6階会議室



第5回ワークショップ会議では、これまでの話合いの成果をご覧いただくため、地元関係者にも来場いただき、とりまとめた意見を発表する「パブリックミーティング」を開催いたしました。



ワークショップメンバーの皆さまには、これまでの会議をとおして、現状の理解を深めていただくとともに、対応策の検討にあたっては、地域の子どもの未来・教育環境を最優先とし、さらには、災害時の避難所対応や財政問題、地域の歴史や伝統など、幅広い視点で議論いただきました。

案1

既存小学校施設を改修して利用を続ける

現在の、折原小学校、鉢形小学校、城南中学校の3校体制は変えず、老朽化した小学校2校について大規模な改修工事を実施する案です。

案2

2つの小学校を集約し、新校舎を建設する

現在の、折原小学校、鉢形小学校を集約し、城南中学校の敷地内に新校舎を建設する案です。

案3

既存小学校1校を改修し、集約する

折原小学校か鉢形小学校どちらか1校を大規模改修し、集約化する案です。

案4

その他

各班の最終意見はこちら！！

各班の意見を発表用のシートにまとめていただきました。最終意見として選択した案に対する選定理由、課題点、さらには、要望事項について、とても具体的にまとめていただきました。

城南中学校区小中学校
長寿命化・集約化検討ワークショップ **A班**

キャッチフレーズ
INSPIRE the CHILDREN

選んだ“案”
案4(その他) 城南中学校に両小学校を集約
ただし小学生1～6年生と中学生校舎完全別

【選定理由】

- ・複式学級の解消
- ・新校舎にすることで2校とも同じスタートラインに立てる
- ・リーダーシップや自主性を養う機会が確保できる

課題点

- ・通学距離
- ・小学校と中学生の発達の違い（身体・心）がある
- ・9年間一緒になると、人間関係のリセットが難しい
- ・グラウンドなど共用だと低学年が委縮してしまう

要望事項

- ・スクールバス
- ・小学生の成長と安全面を保障するため、校舎、グラウンド、体育館、プールなども完全に別にする（区別する）
- ・敷地を別に確保する
- ・学校統合サポーター等の配置

城南中学校区小中学校
長寿命化・集約化検討ワークショップ **B班**

キャッチフレーズ
素晴らしい教育環境の為に

選んだ“案”
案2 2つの小学校を集約し、新校舎を建設する

【選定理由】

- ・児童数減少による為
- ・コストが低くおさえられる
- ・一つの小学校が残って、一つの小学校がなくなるのであれば、新校舎（第3の場所）を建てて集約化がベターである

課題点

- ・通学について（時間、距離など）スクールバス利用等
- ・中学生、小学生（低学年）は体格差がある為、小学生が過ごしやすいように配慮する

要望事項

- ・学校だけにまかせるのではなく、地域の人達も一緒に子ども達を守る
- ・通学路（4km）にこだわるのではなく、遠い場所に住んでいる子どもはスクールバス利用を可にしてほしい
- ・避難所を確保 ・校歌はどうするのか？

城南中学校区小中学校
長寿命化・集約化検討ワークショップ **C班**

キャッチフレーズ
出来る！友達100人
～楽しい未来を目指して～

選んだ“案”
案2 2つの小学校を集約し、新校舎を建設する

【選定理由】

- ・工事費安価 ・経費が安くすむ
- ・生徒が増えれば学校が活性化する
- ・仲間作りがし易い。一生の友達ができ易い
- ・新しい校舎で気持ち一新 ・先生もやる気が出ると思うから

課題点

- ・通学路の整備
- ・通学が遠くなる子が出てくる
- ・気後れる子供が出てくる可能性がある
- ・新校舎をどうするか

要望事項

- ・学童保育を併設してもらいたい ・スクールバスを希望
- ・町も一緒にコミュニケーションをとれる仕組み作りを考えて欲しい
- ・折原地区に子供を増やす方法を考えて欲しい
- ・移住者を増やす新しい町作りを考えて欲しい
- ・寄居町に魅力を感じるようにして欲しい
- ・上級生と下級生のつながりを作りたい

城南中学校区小中学校
長寿命化・集約化検討ワークショップ **D班**

キャッチフレーズ
子供達の魅力ある学校作り

選んだ“案”
案2 2つの小学校を集約し、新校舎を建設する

【選定理由】

- ・コストの削減
- ・いじめの減少
- ・児童数減少への対応（複式学級の解消）

課題点

- ・通学時間と距離の増加
- ・放課後、休日の遊び場所がなくなる（スポーツ少年団の活動場所がなくなる）
- ・避難所がなくなる

要望事項

- ・遊び場所の確保・通学手段の確保（スクールバス等）
- ・廃校の利活用 ・避難所の確保
- ・城南中学校の魅力作り



キャッチフレーズ

教育活動の充実を目指して

～小中一貫教育を通して～

選んだ“案”

案2 2つの小学校を集約し、新校舎を建設する



【選定理由】

- ・社会性の充実（児童が集団の中で多様な考えや協力ができる）・複式学級の解消
- ・校舎の老朽化、災害時の安全性の問題
- ・地域の共有と交流

課題点

- ・通学距離の問題
- ・小中一貫の教育課程の編成

要望事項

- ・スクールバス
- ・地域の見守り
- ・既設施設を残し、新たな施設（テニスコート）
- ・少人数教室の充実
- ・小中学生が同じ場で過ごす事への配慮（グラウンド、プール、トイレ、体育館 etc.）



キャッチフレーズ

笑顔あふれる みんなでいっしょに 多様な学び

選んだ“案”

案2 2つの小学校を集約し、新校舎を建設する



【選定理由】

- ・限られた予算で継続的な管理を行える
- ・多様な学びの場が確保できる（少子化対策）
- ・城南地区内の平等性が図られる

課題点

- ・通学距離が遠くなる児童がでてくる
- ・避難場所がなくなってしまう
- ・人数が多くなることによる教育の質の低下

要望事項

- ・スクールバス等通学の足の確保
- ・避難所の確保
- ・校庭や体育館などの施設使用時の安全対策
- ・きめ細かな教育・見守りの強化

皆さんの声！！

パブリックミーティングにご来場いただきました、地元関係者の皆さまにアンケートを実施し、発表の内容や、会議の運営等についてご意見を伺いました。主なご意見を紹介させていただきます。

- どの班の意見も共通して、子どもの安心・安全を第一に、子どもを中心に据えた意見だと感じました。
- ワークショップ会議、パブリックミーティングの開催は、意義があると思います。この会に参加した人たちを中心に各地区に広めていき、最後は地区の住民全員の意見を聞いて決定してほしい。
- ワークショップは、気軽な意見交換から円滑な合意形成が図られる感じでとてもよい手法だと思いました。
- どのグループも活発にワークショップができていた。町の宝である子ども達の未来のために、真剣に考えている様子は素晴らしかった。
- どの班の意見もとてもすばらしかったです。この会議の内容を踏まえて、町では今後検討していただきたいです。

編集後記

ワークショップ会議にご参加いただいた皆さまには、9月の第1回会議から、本当に長い間ご協力いただきありがとうございました。回を重ねるごとに議論は活発となり、様々なご意見をいただきました。第5回目となる「ワークショップ通信」も今回で最終号となりますが、検討状況等については、引き続き地区回覧等で情報共有を行い、地域の皆さまと共により良い形で実現できるよう、全力で取り組んでまいります。